

特集

成人（おとな）の矯正治療とは

1 成人でも矯正治療はできます

矯正治療は、子どもだけと考えていませんか？成人の矯正治療は、きれいな歯ならびと良い咬み合わせ、口元の改善などを目標にしています。矯正治療は口の機能（咬む、のみ込む、話す、呼吸するなど）を向上し、健康で第一印象を良くする効果があります。20代の方だけでなく、歯を支える骨（歯槽骨）や歯肉が健康な状態であれば、40～60代でも成人矯正治療は可能です。

但し、レントゲンを撮影し、歯周病が進んで歯を支える骨が少ない場合には矯正治療ができないこともあります。通常成人の矯正治療には、目立たない装置を使うことが主流になります。



2 成人矯正治療は本人の意志で始まる

子どもの矯正治療は、本人よりも保護者の希望が優先されることが多いのが事実です。そのため本人のモチベーションが低く、治療の進み方、結果が思わしくない場合があります。しかし社会人になり就職や結婚時になると、子どもの頃に矯正治療をして良かったと親に感謝するものです。

一方、成人では、本人の意志できれいな歯並びや良い咬み合わせにしたいと矯正治療を開始します。従って成人はモチベーションが高く、矯正治療中の歯みがきや装置の手入れに注意を払うため、効率的に治療が進むことが多いのです。

3 成人矯正のメリット

成人矯正治療は次のようなメリットがあります。

1 第一印象を良くする（外見を良くする）

出っ歯、歯のでこぼこ、受け口などの歯並び、咬み合わせ、出っ張った口元を改善できます。

2 お口の機能を良くする

咬む、のみ込む、話す、呼吸するなどの口の機能は、わるい歯ならびや咬み合わせにより影響を受けます。矯正治療後には、良く咬めるようになった、発音がはっきりした、口呼吸が鼻呼吸になったなどの良い効果があります。

また食べ物を良く咬むことで、消化や吸収を助け胃腸への負担を減らします。

3 虫歯や歯周病のリスクが減る

歯ならびが悪く、でこぼこが多いと、よく磨けないため、虫歯や歯周病の原因になります。矯正治療により歯ならびが良くなると、歯磨きがし易くなり、虫歯や歯周病のリスクが少なくなります。

4 歯並びや口もとを気にしないで、ポジティブな人生に

コンプレックスだった歯ならびや口元を気にしないで、人前で話せるようになった、笑えるようになったなど、ポジティブな自分に変わることができるでしょう。



4 子どもの矯正と成人矯正のちがい

基本的に歯が動く仕組みは子どもも成人も変わりません。成人では成長発育が終わっているため、歯が動く速さは子どもの矯正治療と比べて少し遅くなります。また、矯正装置も子どものように、顎の成長を利用す

るような装置は使うことはできません。そのため、でこぼこの歯ならびや、出っ歯を改善するためには、歯を並べるスペースを作るために犬歯の後ろの歯を抜く可能性があります。

成人では本人の意志で矯正治療を開始し自分自身で費用を負担することが多いため、矯正治療への協力が良いというメリットがあります。

5 使用する矯正装置

- 1 歯の表面に、目立たない装置（ブラケット）をつける方法



最近では、金属の装置ではなく、セラミックやプラスチック製の乳白色や透明の装置を使います。テレビに映るスポーツ選手や芸能人も、近年、装置を気にせずに矯正治療をおこなう人が増えています。



- 2 歯の裏側に、装置（ブラケット）をつける方法

歯の表側に装置をつけないため、矯正治療をしてい

ることが他人に分からないメリットがあります。接客業の方など外見を気にされる方には良いでしょう。しかし発音がしづらい、歯がみがきにくい、費用が多少高くなるなどデメリットもあります。

3 マウスピース型装置を装着する方法

取り外しのできる薄型のマウスピースを段階的に取り替えながら歯ならびの治療を行う治療方法です。目立たないこと、また、食事の際や歯磨きの際、装置を外していれば普段と変わらないというメリットがありますが、適応症に限りがあり、すべての方が治療できるわけではありません。

何よりも本人がマウスピースを1日20時間程度装着する必要があります。（装置を装着していないと治療が進みません。）

まとめ

成人の矯正治療は、歯ならびや口元を良くするだけでなく、咬む、のみ込む、話す、呼吸するなどの口の機能を改善し健康につながります。言い換えれば、その人の生き方、人生を変えるとんでも良いでしょう。成人の方でも遅くはありませんので、是非、矯正歯科専門開業医にご相談下さい。

矯正治療は期間も費用もかかりますので、担当医より十分な説明を受け納得されてから開始して下さい。

市民セミナー in こうほく

日本臨床矯正歯科医会神奈川支部では、地域の皆さまに矯正治療について知っていただくため、毎年市民セミナーを開催しています。今年は7月2日（日）に日吉の慶応義塾大学協生館にて行われました。

当日、参加者の方々には、矯正治療はいつ、どこで治療するのがよいかを説明する「講演」、歯並びがどのように治るのかを実際の模型や写真で見ていただく「矯正治療展示コーナー」、そして個別にご相談にのる「相談コーナー」の3つのプログラムを回って

いただきました。

梅雨の中休みの大変暑い中、196組473名もの参加者があり、大変盛況のうちに終了いたしました。

次回は来年の7月1日（日）に東海大学前駅のタウンニュースホールにて開催予定です。

